

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平5-40096

(43) 公開日 平成5年(1993)5月28日

(51) Int. Cl. ⁵

識別記号

F I

B62M 7/02

F 9144-3D

B62K 19/30

7336-3D

審査請求 未請求 請求項の数1 (全3頁)

(21) 出願番号 実願平3-98015

(22) 出願日 平成3年(1991)10月31日

(71) 出願人 000002082

スズキ株式会社

静岡県浜松市高塚町300番地

(72) 考案者 河合 浩行

静岡県浜松市高塚町300番地 スズキ株式
会社内

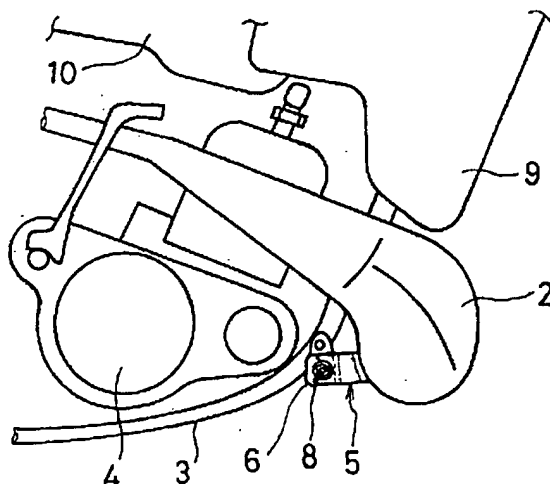
(74) 代理人 弁理士 萼 経夫 (外2名)

(54) 【考案の名称】 マフラ取付装置

(57) 【要約】

【目的】 オートバイ等の車両において、車体にマフラを取り付けるときのダンパの共廻りを防止すると共に、取り付け作業性を向上させる。

【構成】 車体フレーム3にダンパ6を介して取り付けられたマフラ2において、このマフラ2に車体フレーム3取付用のマフラブラケット5を設ける。そして、このマフラブラケット5に前記ダンパ6の共廻りを防止する廻り止め部11を設ける。このようにしたので、マフラ2を車体フレーム3に固定する場合に、マフラブラケット5をナット8で締め付けてもダンパ6はこの廻り止め部11に係止して共廻りすることがない。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 車体フレームにダンパを介して取り付けられたマフラにおいて、該マフラに車体フレーム取付用のマフラブラケットを設け、該マフラブラケットに前記ダンパの共廻りを防止する廻り止め部を設けたことを特徴とするマフラ取付装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施例の要部を示す側面図である。

【図2】 図1のマフラブラケット取付部分の底面図である。

【図3】 図1のマフラブラケット取付部分の背面図である。

【図4】 本考案のマフラの側面図である。

【図5】 図4のマフラの上面図である。

【図6】 マフラブラケットの拡大側面図である。

【図7】 図6のB矢視図である。

【図8】 ダンパの正面図である。

【図9】 図8のダンパの側面図である。

【図10】 図8のダンパのC-C線に沿う断面の一部を示したものである。

【図11】 オートバイの説明するための図である。

【図12】 従来のマフラブラケット取付部分の側面図である。

【図13】 図12のマフラブラケット取付部分の底面図である。

10 【符号の説明】

1 オートバイ

2 マフラ

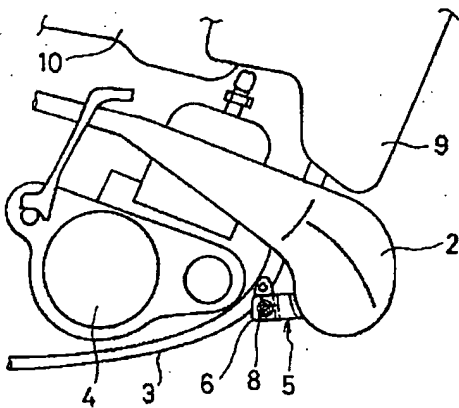
3 車体フレーム

5 マフラブラケット

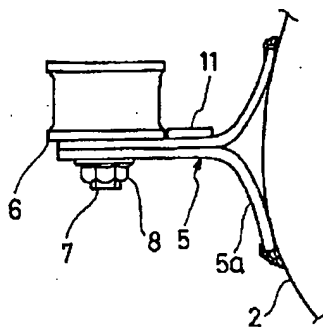
6 ダンパ

11 回り止め部

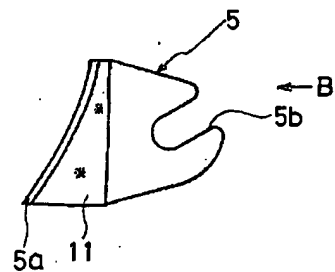
【図1】



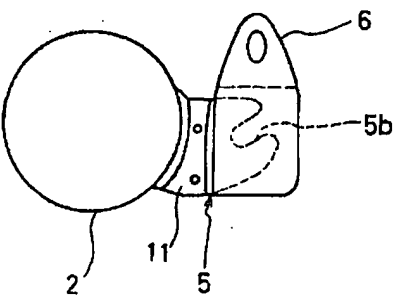
【図2】



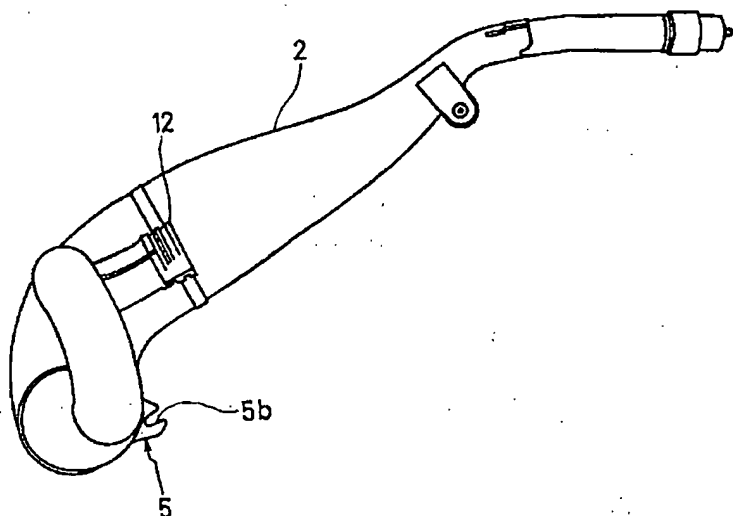
【図6】



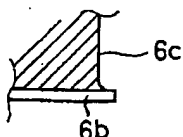
【図3】



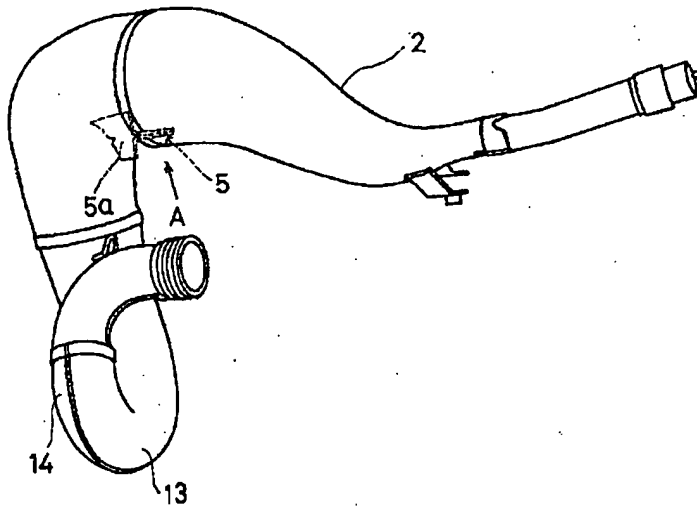
【図4】



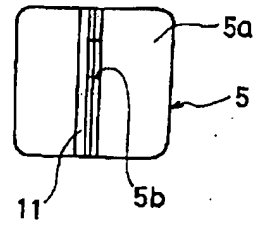
【図10】



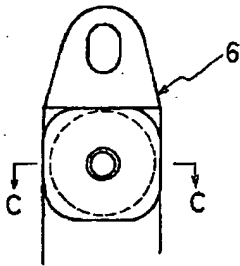
【図5】



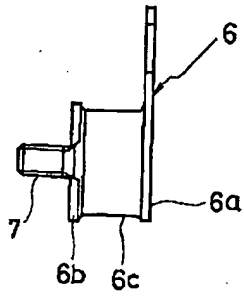
【図7】



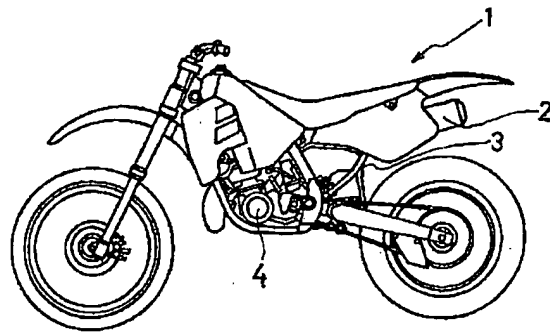
【図8】



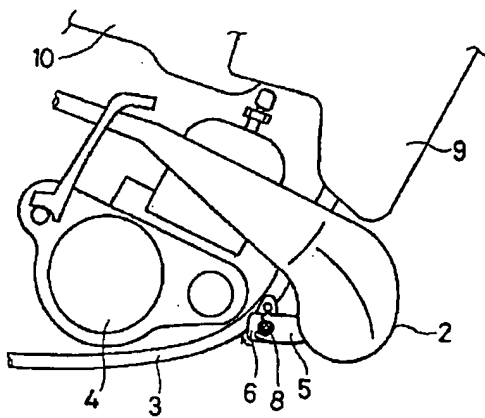
【図9】



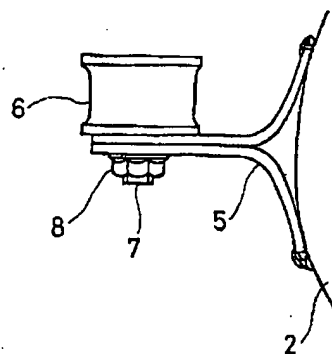
【図11】



【図12】



【図13】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案はマフラ取付装置に関するもので、マフラを車体フレームに取り付ける際、該車体フレームと前記マフラとの間に介在するダンパが共廻りしないようにしたものである。

【0002】

【従来の技術】

車両たとえばオートバイ1には、図11に示すように、排気ガスを冷却しながら徐々に膨張させて排出させるマフラ2が設けられている。マフラ2はその取付の安定を図るために、一般に車体フレーム3に固定されているものである。この取付状態を図12および図13にもとづいて説明する。オートバイ1のエンジン4に接続されたマフラ2にはマフラブラケット5が溶接により固定されており、このマフラブラケット5を車体フレーム3に取り付けられたダンパ6のボルト7に係合させてナット8を締め付けることによってマフラ2を車体フレーム3に取り付けている。図12中、符号9で示すものはラジエターカバー、符号10で示すものはフューエルタンクである。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

以上説明した従来技術にあつては、マフラを車体フレームに固定する場合には、マフラに溶着したマフラブラケットを車体フレームに取り付けたダンパのボルトに係合させてナットを締め付けることによってマフラを車体フレームに取り付けるようにしているが、ナットを締め付ける際、ダンパ全体が図12に矢印で示すようにナットと共廻りしてしまうことがあった。このようにダンパが共廻りすると、ダンパに初期荷重がかかった状態になり通常のダンパとしての機能を十分に発揮できず、ダンパの折損原因ともなるので、これを防ぐ対策が必要となった。また、ダンパが共廻りをするとその廻りを戻さなければならず作業性が悪くなる問題があった。

【0004】

本考案は上記従来の問題を解決するためになされたもので、マフラブラケットに廻り止めを設けることによってナットを締め付けた際のダンパの共廻りを防止すると共に作業性を向上させたマフラ取付装置を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本考案は、上記課題を解決するための手段として、車体フレームにダンパを介して取り付けたマフラにおいて、該マフラに車体フレーム取付用のマフラブラケットを設け、該マフラブラケットに前記ダンパの共廻りを防止する廻り止め部を設けたことを特徴とするものである。

【0006】

【作用】

本考案はこのようにマフラに取り付けた車体フレーム取付用のマフラブラケットにダンパの共廻りを防止する廻り止め部を設けたので、マフラを車体フレームに固定する場合において、マフラに溶着したマフラブラケットを車体フレームに取り付けたダンパのボルトに係合させてナットを締め付けてもダンパはこの廻り止め部に係止して共廻りを防止することが可能となる。

【0007】

【実施例】

以下、本考案の一実施例を図1ないし図3について、図11ないし図13と同一の部材には同一の符号を付して説明する。図において符号2で示すものはオートバイ1（図11参照）のエンジン4に接続したマフラである。図1は右側がオートバイの前方側を示している。マフラ2には2枚の板部を合わせ一侧を開いて取付部5aとしたマフラブラケット5がその取付部5a側を溶接させて取り付けられている。

【0008】

また、このブラケット5の他側には係合凹部5bが形成されているのでこの係合凹部5aを車体フレーム3に取り付けられたダンパ6のボルト7に係合させてナット8を締め付けることによってマフラブラケット5をダンパ6に取り付けている。この取り付けによってマフラ2はダンパ6を介して車体フレーム3に固定され

ることになる。ダンパ6はこのように車体フレーム3とマフラ2との間に介在させてエンジン4からの振動をマフラ2に伝達させないように緩和させるためのものである。そして、マフラブラケット5のダンパ6接触側にはダンパ6の共廻りを防止するための廻り止め部11がスポット溶接によって取り付けられている(図2および図3参照)。

【0009】

図4および図5はマフラ2を示したものであり、マフラ2にはマフラブラケット5が1個取り付けられている。図4において、符号12で示すものは取付フランジでありエンジン4の接続する部分である。図5において、符号13で示す部分が車体の内側となり、符号14で示す部分が車体の外側となる。図6および図7はマフラブラケット5を拡大して示したもので、図6は図5の矢視Aからの図で、図7は図6の矢視Bからの図である。そして、前述したようにマフラブラケット5の他側はダンパ6のボルト7に係合するための係合凹部5bとなっており、一側の取付部5a寄りには前述した廻り止め部11が設けられている。

【0010】

図8および図9はダンパ6を拡大して示したものである。ダンパ6は車体フレーム3に取り付ける板6aとマフラブラケット5に係合するボルト7を装着した板6bとをリング状のゴム6cを挟んで一体に接着して形成したものである。図10は図8のC-C線に沿って切断した断面図である。

【0011】

以上のように構成したので、マフラ2を車体フレーム3に固定する場合は、マフラ2に溶着したマフラブラケット5の係合凹部5bを車体フレーム3に取り付けたダンパ6のボルト7に係合させてナット8で締め付けていくが、マフラ2のマフラブラケット5にダンパ6の共廻りを防止する廻り止め部11を設けてあるので、ダンパ6はこの廻り止め部11に係止して共廻りを防止することができる。

【0012】

【考案の効果】

本考案は、以上説明したようにマフラに取り付けた車体フレーム取付用のマフラブラケットにダンパの共廻りを防止する廻り止め部を設けたので、マフラを車

体フレームに固定する場合に、マフラブラケットをダンパのボルトに係合させてナットを締め付けてもダンパはこの廻り止め部に係止して共廻りを防止することができる。これによってダンパの折損をなくすことができると共に作業性が向上した。